

西田哲学における愛の概念の展開



講師 石井砂母亜

(ルーテル学院大学非常勤講師)

日本を代表する哲学者・西田幾多郎の宗教哲学といえば、真っ先に禅の思想が頭に浮かびますが、彼がキリスト教に対してどのような態度をとったのか、とりわけその愛（アガペー）をめぐる思索をいかにして深めていったのか、という点はこれまでそれほど論じられたことはありません。

今回、西田の宗教哲学に新地平を開かれた石井先生をお招きして、その最新の成果をご講演いただきます。みなさまのご来場をお待ちしております。

〔入場無料・事前申し込み不要〕

1月24日（土） 16:30-18:00

信州大学 人文ホール

問い合わせ

護山真也（信州大学人文学部 哲学・思想論分野）

smoriyam@shinshu-u.ac.jp